

ビジネスアイデアの概要

社会課題 舌の衛生状態は全身の健康リスクと関連する指標である一方、日常的に評価・管理できるツールがない。

▶ **誤嚥性肺炎**（死因第6位）や**感染症**、**味覚障害**や**口臭**による社会生活の制限

課題解決策 **“スマートフォン×舌衛生評価AI”**により、舌衛生の可視化と支援の提供。

▶ **“誰でも・どこでも・簡単に行える舌衛生評価”**から、日常的な口腔管理へ

ビジネスアイデアを事業化するための課題

- ① ターゲット顧客およびユースケースの明確化
▶ 医療・介護・個人のどこから導入するかの優先順位付け
- ② アプリケーション作成と多環境での動作検証およびAI精度の向上
- ③ アプリケーション使用による効果検証
▶ 実利用環境における需要検証（PoC）と価値仮説の検証
- ④ 持続可能なビジネスモデル（収益構造・価格設定）の設計

事業化の見通し

技術的な優位性を基盤に実利用検証を進め、予防医療市場への展開を見込む。

- AI基盤構築** 高い舌衛生の評価精度を有し、実用化に向けた技術基盤を有する。
- 特許取得** 舌状態推定装置、舌状態推定方法及びプログラム（特許第7719494号）
- 連携基盤** 医療機関・研究機関との接点があり、PoCや共同研究が見込まれる。
- 市場適合** 口腔から全身管理への関心の高まりから、予防医療市場との親和性が高い。

事業者情報

大川 純平 歯科医師，博士（歯学）
チームメンバー | 堀 一浩

新潟大学大学院 医歯保健学研究科
包括歯科補綴学分野

ビジネスアイデア概要図等

- ✓ 検査者に依らない詳細な検査結果をすばやく提示。
- ✓ 視覚的にシンプルな舌衛生状態と清掃方法を提供。

